

[異常時通報連絡の公表文（様式 1-2）]

伊方発電所から通報連絡のあった異常について
（令和 5 年 1 月分）

R 5 . 2 . 10

原子力安全対策推進監

電話番号 089-912-2352

- 1 令和 5 年 1 月に、安全協定に基づき四国電力(株)から県へ通報連絡があった異常は次のとおりですので、お知らせします。

県の公表区分	異常事項	発生年月日	概要	管理区域該当	国への報告	備考
C	中央制御室の書類の焦げ跡 (3号機)	5.1.19	伊方発電所 3 号機は通常運転中のところ、中央制御室の運転員の机上にあった書類に小さな焦げ跡を確認した。 火災感知器は動作しておらず、炎も確認していない。 本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。 消防署へ通報し、消防署の立ち入りの結果、火災ではないと判断された。 保修員による確認の結果、中央制御室の 1 つの天井照明器具の安定器に焦げを確認した。このことから、当該安定器から火の粉が落下し、それにより下部にあった書類に小さな焦げ跡ができたものと推定した。 当該天井照明器具を電源系統から切り離れた。当該天井照明器具については、取り替えを計画する。	外	×	今回公表
C	作業員の負傷 (共用)	5.1.21	伊方発電所構内の作業員より、勤務終了後帰宅時に膝の痛みを感じたため病院を受診したところ、「左膝内側半月板変性断裂」と診断されたとの連絡を受けた。 当該作業員は、1 月 20 日、構内巡視中に転倒し、その際は痛みがなかったが、翌朝になって痛みを感じたため受診したものである。 意識の有無：有 計画外被ばくの有無：無 汚染の有無：無 当該作業員は、1 月 22 日、出社した。	外	×	今回公表

県の公表区分	異常事項	発生年月日	概要	管理区域該当	国への報告	備考
C	ルースパーツモニタ装置の異常信号の発信 (3号機)	5.1.24	<p>伊方発電所3号機は通常運転中のところ、中央制御室に「ルースパーツモニタ装置(※)」の異常を示す信号が発信した。</p> <p>本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。</p> <p>調査の結果、ルースパーツモニタ盤内の解析装置に不具合が発生し、ルースパーツモニタ装置の機能が停止していることを確認した。</p> <p>その後、ルースパーツモニタ盤内の装置を再起動し、ルースパーツモニタ装置の機能に異常がないことを確認して、通常状態に復旧した。</p> <p>なお、復旧時点において、1次冷却材系統内のルースパーツによる異常な振動は検知していない。</p> <p>※ルースパーツモニタ装置</p> <p>1次冷却材系統内にルースパーツ(機器や装置の部品が脱落したもの)が発生した場合、1次冷却材系統を構成する配管内壁等に衝突する際の振動を検知する装置。</p> <p>今回の事象はルースパーツモニタ盤内の解析装置に不具合が生じたものであり、1次冷却材系統内のルースパーツによる異常な振動を検知したものではない。</p>	外	×	今回公表

2 外部への放射能漏れや周辺環境放射線への影響はありませんでした。